

# 上下水道

**水道水を安全に使用するために**

基準に適合した安全で良質な飲み水を家庭や事業所に届けるために、市内各所で定期的な水質検査を実施しています。

◆長時間水道を使わなかったときは、朝一番や外出・旅行などで長い間使用しなかつた水道水は、消毒用塩素濃度が低下することがあります。

また、鉛の給水管の場合には鉛がわずかに溶け出すことがありますが、念のため最初の水は、バケツ一杯程度の量を飲み水以外に使用してください。

**問合せ先** 浄水課 ☎072-422-0445

## 9月10日は下水道の日

下水道は、各家庭や工場などから排出される汚水をきれいに処理し、海や河川などに戻すという大切な役割を果たしています。また、浸水対策や悪臭・害虫の発生を防ぎ、快適な生活環境をつくることにもつながります。

◆下水道が整備された区域のみなさんへ

宅地内の排水設備から下水道への接続工事は、お早めにお申し込みください。また、下水道への接続工事は必ず市の排水設備工事指定業者に依頼してください。

**問合せ先** 上下水道総務課 ☎072-433-718



# 来年4月1日から実施 違反対象物の公表制度

近年、宿泊施設や社会福祉施設などで、多くの死傷者を伴う火災が全国各地で発生しています。このような建物において重大な消防法令違反がある場合、利用されたかたがその危険性に関する情報を入手し建物を利用する際の判断ができるよう、建物の所在地、名称、違反内容を公表します。

**違反の対象となる建物**

①建物の用途 消防法上「特定防火対象物」として位置づけられている、映画館、飲食店、物品販売店舗、宿泊施設など不特定多数のかたが利用される建物や、病院、社会福祉施設など一人で避難することが難しいかたが利用される建物を対象とします。

②違反事項 特定防火対象物において、消防法で設置が義務付けられているにもかかわらず屋内消火栓設備、スプリンクラー設備または自動火災報知設備が設置されていない消防法違反を対象とします。

**公表方法・内容** 建物の名称、所在地、違反の内容について、市のホームページで公表します。

**問合せ先** 消防本部予防課 ☎072-422-0119

# 消防

10月から小規模な飲食店にも消火器の設置が義務化



平成28年12月22日に新潟県糸魚川市で発生した大規模火災を受け、消防法施行令の一部を改正する政令等が公布されました。

10月1日から小規模な飲食店にも消火器の設置が法律で義務となります。

詳しくは、ホームページをご覧ください。また、消火器の質的な訪問販売に十分注意してください。

**問合せ先** 消防本部 ☎072-422-0119

## 秋季全国火災予防運動防火図画募集

貝塚市火災予防協会では、秋季全国火災予防運動行事の一環として、市内の小・中学生、幼年消防クラブ結成の幼稚園児から防火図画を次のとおり募集します。

**応募内容** 四ツ切で作品は未発表のもの

**応募方法** 裏面に学校園名・学年・氏名・性別を記入し、学校園を通じ消防本部へ

締切 10月17日(木)

**入賞発表** 来年2月号の「広報かいつか」と「消防本部ホームページ」に掲載

**入賞作品** 市内各所で展示

**応募・問合せ先** 消防本部 ☎072-422-0119

# 健康



## 健康相談

日時 10月11日(金) 午前9時30分～11時

場所 保健センター

内容 血圧・体重・体脂肪率・体内年齢・尿酸値などの測定ができます。禁煙相談・栄養相談は申し込みが必要です。

**申込・問合せ先** 健康推進課 ☎072-433-7000

## 幼児食講習会

今回は「栄養バランスばっちり!おいしいお弁当づくり」をテーマに開催します。

日時 10月15日(火) 午前10時～午後1時

場所 保健センター

対象 離乳食完了し、小学校入学前の子どもと保護者(対象児には保育あり、保護者のみの参加可)

定員 20組(要申込・定員になり次第)

**申込・問合せ先** 健康推進課 ☎072-433-7000 FAX 072-433-7005



# ほっ スピタル・かいつか

## (39) 放射線によるがんの治療

**問合せ先** 貝塚病院 ☎072-422-5865

貝塚病院放射線科では、リニアックという装置を用いて放射線によるがんの治療を行っています。放射線を体に当てるなんて怖いと思われるかもしれませんが、どなたでも安全に受ける事ができる治療です。

誤解される事が多いのですが、放射線治療はがんを直接焼いているわけではありません。がん細胞の遺伝子が放射線により障害されると、がん細胞はゆっくりと消えていくという仕組みを利用しています。そのため、放射線の照射自体は痛みを伴いません。

しかし、放射線が照射される範囲・放射線の量によっては、副作用が起こる事もあります。副作用を最小限に抑えるために、以下の二つの工夫を行っています。

一つ目は、高精度放射線治療といって、がんの大きさ・広がり方に合わせて正確に放射線を照射する方法です。放射線は照射された部分にだけ影響しますから、余計な所に照射しないようにすれば、その副作用を減らす事ができます。

二つ目は、分割照射といって、放射線の量を小分けにして、1日1回ずつ数週間かけて進めていく方法です。副作用が軽くなり体への負担が小さくなります。

当科では、放射線治療医が個々の患者さんに合わせて照射方法を決めています。治療期間中も、医師による診察や看護師によるケアを行い、無理なく最後まで治療を完遂できるようサポートしています。

放射線治療の事で何かありましたら、気軽にご相談ください。

放射線科部長 古妻理之

## 手軽にできる大腸がん検診

**問合せ先** 健康推進課 ☎072-433-7000

大腸がんは診断されたかたは、男女とも急増しており、がんによる死亡者数の中で、女性の死亡率はワースト1位、男性の死亡率はワースト3位です。

大腸がんは、早期発見が大切です。しかし、初期段階では自覚症状がなく、症状が出てからでは、がんが進行してしまっている場合が多いことから、まずは、手軽な「便潜血検査」を受けましょう。

便潜血検査は、自宅で便の採取を行うことができ、食事制限の必要もない簡単な検査です。便の中の血液の有無を調べることで、大腸がんの早期発見につながります。便潜血検査では、目に見えないわずかな出血も検知することができるため、大腸がんの死亡率低下に有効な手段であるとされています。

大腸がん検診により、便潜血陽性と診断されたら、大腸の内視鏡検査を受ける必要があります。大腸がんの治療法は進歩し、早期に発見された場合、内視鏡治療で完治するものも増えています。

40歳を過ぎたら毎年大腸がん検診を受けましょう。

